

関東大学サッカーサポーターズクラブ

サポーターズクラブ会員



年会費 継続：2,500円
新規：3,000円
会員限定 HP の閲覧

シーズンパス会員



年会費 5,000円
年間のリーグ戦が無料で観戦可能

同時入会会員



年会費 継続：7,000円
新規：7,500円
同時入会だとさらにお得！

色紙
プレゼント

→中大座談会の様子



ここだけの情報満載
→駒大座談会の様子



入会方法の詳細は、関東大学サッカー連盟公式 HP 内右上にあるサポーターズクラブ欄をご覧ください。
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-10-15 JFA ハウス 7F
(一財)関東大学サッカー連盟 関東大学サッカーサポーターズクラブ
E-mail:kuss@jufa.jp TEL:03-3830-1850

ユニフォーム型ストラップ

各大学のユニフォーム型ストラップを
ゲートにて500円(税込)
で販売しております！

大学サッカー公式応援グッズ♥

ゲートではその他、本大会公式プログラム
昨年度の全日本大学選手権プログラムなど
販売しています♪

ぜひゲートにてお買い求めください！

もう一つの早慶戦！

早慶戦 大 7.1(wed)

@等々力陸上競技場

19:00kick off/前売り900円・当日券1000円

観客数15000人、大学サッカーの枠を超えた一戦で
勝利の凱歌を揚げるのは、早稲田か慶応か。
プライドを懸けた闘いが、等々力の地で繰り広げられる。
お問い合わせ先：042-466-9755(早大)・045-562-2849(慶大)

サッカー部はジールで決める!

体育会系学生就職支援企業
Zeal Athlete Agency



JR東日本カップ 2015 第89回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.23-NO.08 Division 1



発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：加茂 郁実・関東大学サッカーサポーターズクラブ

大混戦！抜け出すのはどこだ

連戦の中を迎えたJR東日本カップ2015第89回関東大学サッカーリーグ戦前期リーグ第7節。

5日(火)に行われた早大対法大の一戦では法大がセットプレーからの追加点を決め、突き放し勝利を収めた。法大が3連勝と波に乗る一方、開幕戦以来勝利を挙げられない早大が苦しんでいる。順大対流経大戦は前半2点をリードした順大に、後半流経大が反撃を仕掛けて1点を返すが、追加点を奪えず流経大が初黒星を喫した。慶大対神大の試合は神大がボールを回すも得点には至らず、スコアレスドローで勝ち点1を分け合った。

6日(水)に行われた明大対桐蔭大の一戦は、明大が藤本(4年)の得点で先制するも、4分後に桐蔭大が1点を返す。互いに追加点を狙うがそのまま試合は終了し、両チーム勝ち点1を積み上げるにとどまった。関東大対中大の試合では、国士大の今季自慢の得点力が大爆発。松本

得点ランキング		アシストランキング	
矢島 尊一(中大)	8点	荒木 翔(国士大)	6アシスト
松本 孝平(国士大)	6点	平野 篤志(駒大)	4アシスト
藤本 佳希(明大)	5点	嶋山 義(慶大)	3アシスト
以下3得点4名		新里 涼(順大)	3アシスト

(3年)の4ゴールを含む7得点で大勝利、国士大が単独首位に立った。専大対駒大戦は、前半駒大が先制するも後半に専大が意地を見せて同点に追いつく。シュート数では専大が上回るも互いに勝ちきれない試合となった。

勝ち点が並び、首位争い目が離せない連戦最終戦。今節も選手の熱いプレーに乞うご期待！

JR東日本カップ2015 第89回関東大学サッカーリーグ戦 1部 順位表

[1部第7節終了時]

チーム名	国士	慶大	流経	法大	明大	順大	桐蔭	専大	神大	駒大	中大	早大	勝点	試合数	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差	順位
国士館大学			0●1	2●1	0△0	6●1				2●1	7●1	0●1	13	7	4	1	2	17	6	11	1
慶応義塾大学			1△1	3●0	2●1	1△1	1●3	0△0	2●1				12	7	3	3	1	10	7	3	2
流通経済大学	1●0	1△1			1△1	1●2	1△1				2●1	1●0	12	7	3	3	1	8	6	2	3
法政大学	1●2	0●3			2●3	2●1	1●0			4●2		2●0	12	7	4	0	3	12	11	1	4
明治大学		1●2	1△1	3●2		3●2	1△1		2●1				11	7	3	2	2	13	12	1	5
順天堂大学	0△0	1△1	2●1	1●2	2●3		1●0				2●1		11	7	3	2	2	9	8	1	6
桐蔭横浜大学	1●6				1△1	0●1		1●0	2●0	1●2		1△1	8	7	2	2	3	7	11	-4	7
専修大学		3●1	1△1	0●1			0●1		0△0	1△1		0△0	7	7	1	4	2	5	5	0	8
神奈川大学		0△0			1●2		0●2	0△0		2●1	1△1	1△1	7	7	1	4	2	5	7	-2	9
駒澤大学	1●2	1●2		2●4			2●1	1△1	1●2		2●1		7	7	2	1	4	10	13	-3	10
中央大学	1●7	1●2			3●2	1●2			1△1	1●2		4●1	7	7	2	1	4	12	17	-5	11
早稲田大学	1●0		0●1	0●2		1△1	0△0		1△1				6	7	1	3	3	4	9	-5	12

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

ゴールは、自分の中にある。

部活と就活にエールを送る！体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会



RECRUIT

国士館大学 VS 神奈川大学

5月9日(土)
13:50
BMWス

国士大の前節・中大戦の立ち上がりはほぼ互角だったが、前半6分に先制点を奪うと逆に相手は決定機でミス。これで勢いに乗った国士大は20分に追加点を奪うと、後半には5つのゴールを決めて中大を突き放した。これで首位に立ったがここからが本番。向かってくる相手に対してどのように戦えるか。

7試合で7失点とディフェンスは安定している神大だが、攻撃面では早大に次いで2番目にゴール数が少なく5得点。この状況を打破したい。前節の慶大戦も前半は相手にペースを握られたがしっかりと守備陣が耐え、後半は自分たちのリズムで試合を進めた。しかしここからが問題。最後までゴールを奪えずに0-0のスコアレスドロー。あと一步のところまできているだけに、何とか点を決めたいところだ。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度の対戦：なし

松本孝平(国士大・FW・3年)

4得点出来て、チームの勝利に貢献出来たのはよかった。みんなが良い形でボールを繋いでくれたのでほとんど自分では流し込むだけだった。

今、首位という形なので次もまた勝ちたい。次は追われる立場なので逃げ続けて1位を継続していきたい。



高橋孝友(神大・DF・4年)

前節負けてしまっていたのでなんとかして今日は勝ちにいきかけたが、結果がなくて残念。前半の入りは良かったが、後半のセットプレーで点を決められていたら試合をもっと上手く運べた。

次節では早い段階で点を決めて、勝ち点3を取りにいききたい。



流通経済大学 VS 桐蔭横浜大学

5月9日(土)
13:50
たつこ

7試合目にして流経大が初黒星。順大に1-2の敗戦を喫してしまった。後半22分に退場者が出るアクシデントもあったが、とにかく2失点の守備面の中野雄二監督は納得がいかない様子。すべては前半の立ち上がりからの試合への入り方が問題。11分にPKから失点。さらに26分にも失点を重ねた。わずかに1節で首位から陥落してしまっただけで、問題は早急にディフェンスを立て直せるかどうか、ただそれだけだ。

2連勝を目指して明大と戦った桐蔭大だったが、結果は1-1の引き分け。後半5分に先制点を奪われたものの、4分後とすぐに同点に追いついたのは大きかった。ただ、後半は押し気味に試合を進めていただけに、勝ち切ったかった。後半にいくつあったチャンスを今後、決められるかどうかポイントだ。

3回警告：なし
出場停止：塚川孝輝(流経大)
昨年度の対戦：流経大1-2桐蔭大/流経大1-4桐蔭大

小池裕太(流経大・DF・1年)

前半の入りが悪くてHTにからや直そうと話したが、後半も立て直せなかったというのが敗因だと思う。初ゴールを決めたが、チームの勝ちに貢献できる得点にならなくて悔しい。

順大戦での反省点をこれからの練習でしっかり見つめ直して勝つように準備したい。



鈴木国友(桐蔭大・FW・2年)

チームとしては連勝を狙っていた中、引き分けて悔しい。相手が明大だったので得点チャンスは少ないと思っていたが、その少ないチャンスの中で決めることができてよかった。DFは失点0を目標に掲げ、1失点に抑えてくれたが、前線は2点、3点取れるチャンスはあったのでもったいない試合だった。

チームとしてはここで勝利を、個人としては連続得点を狙っていききたい。



早稲田大学 VS 慶應義塾大学

5月9日(土)
11:30
味フィ西

開幕戦で勝利を挙げて以降まったく勝てない早大。前節の法大戦も0-2の敗戦。もともと大量得点のチームではないが、7試合で4得点の攻撃面を改善しなければ、今後も厳しい試合が続く。ただ、内容は決して悪い面ばかりではない。シュートを決めきるサッカーの質の部分と気持ちの強さの部分さらに積み上げて、しっかりと勝点3を奪っていききたい。

現在2位の慶大。調子は悪くないが、前節の神大戦は0-0のスコアレスドローに終わった。シュート数は4本とほとんどチャンスを作ることができなかったのが最後まで響いた格好。一方、守備面は後半41分には退場者を出すというアクシデントもあっただけに、無失点で乗り切れた点を評価したい。伝統の早慶戦。しっかりと勝ちきるのはどちらのチームか?!

3回警告：端山豪(慶大)
出場停止：宮地元貴(慶大)
昨年度の対戦：早大2-0慶大/早大0-1慶大

八角大智(早大・DF・4年)

優勝を目指す上で勝たなければならぬ試合だった。結果として負けてしまいが非常に残念。原点に立ち返り、早大らしいサッカーをやり通して結果に結び付けたい。

慶大は守備が堅いチームだが、点を取らないと勝てない。勝つための準備をチーム全員でしていきたい。



宮原隆志(慶大・GK・4年)

勝ちたい試合だったが、退場者も出してしまうなど色々アクシデントがあった。でも、失点をゼロで抑えられたのは評価できる。

早慶戦は絶対に勝たなければいけない試合なので、より気合を引き締めて戦いたい。



明治大学 VS 駒澤大学

5月9日(土)
13:50
味フィ西

4節で流経大に引き分けて以降、まったく調子が戻らない明大。前節の桐蔭大戦も先制点を奪いながら4分後には追いつかれ、その後はゴールを奪えずに1-1のドロー。この試合では決定的なチャンスが少なかったし、サイドで攻撃の形を作っても、シュートに持ち込むことができなかった。混戦模様の中、攻守において課題をクリアにしておきたいが……。

2連敗中だった駒大の前節は、専大を相手に1-1の引き分け。連敗はストップしたものの、勝ち切れずに苦しい戦いが続いている。しかも、この試合は前半に先制点を奪い、後半もしっかりと守っていただけに、36分での失点は非常に悔やまれる。前半は押されながらもしっかりと守ることができただけに、これを90分間続けられるようにしたい。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度の対戦：明大2-0駒大/明大3-3駒大

鈴木達也(明大・DF・4年)

先制点を取ったが、その後すぐに失点してしまった。もっとこだわって戦わないといけない。ここ2戦連敗してはいたけど、負けなかったということはポジティブに捉えて次こそは勝ちたい。

連敗で厳しい部分もあるが、いいコンディションで試合に臨みたい。



唐木沢真也(駒大・DF・4年)

勝てない試合が続いていたので、諦めないで戦うことを意識していた。それが出来ていたし、追いついて一歩成長できたかなというのは感じている。

明大は強いのでボールを回してくると思うし、苦手意識もあるチームなので自分達の戦う姿勢を見せて、専大戦の反省を修正していきたい。

中央大学 VS 法政大学

5月9日(土)
11:30
フクアリ

前節、国士大を相手に7失点を喫した中大。国士大のサイド攻撃に守備が耐えきれなかった格好。最後はゴールを奪いに前に出て、そこをつかれるといった悪循環に陥ってしまっただけに仕方ない部分もあるが、リーグ最多の17失点と守備面は早急に改善が必要だ。11位とはいえ、上位とはさほど離されていないだけにくらいつきたい。

3連勝と調子が上がってきた法大。前節の早大戦は2-0の完封勝利。攻守が噛み合い、首位の国士大との勝点差はわずかに1。十分に優勝を狙える位置につけている。前半18分という早い時間帯に先制点を奪い、前半のアディショナルタイムに追加点を奪う理想的な展開。相手にボールを保持される時間帯が長かったが、そこで粘り強くプレーできたことに成長がうかがえる。

3回警告：柳沢拓希(法大)
出場停止：なし
昨年度の対戦：なし

小出啓太(中大・DF・4年)

全く良くなかった。しっかりとみんなでもう一度やることを合わせて、次の法政大戦で変わった所をチームで見せられるように頑張ってください。



山田将之(法大・DF・3年)

前半押し込まれている中、セットプレーで点を取れたことは、チームとしても個人としても自信になった。自分の強みは空中戦。監督から、その長所を守備やセットプレーで毎試合出していくように言われているので意識している。セットプレーで点を取ったことは良かった。3連勝だが、もっと上位に食い込んでいきたい。優勝を目標に、勝利を積み重ねていきたい。

専修大学 VS 順天堂大学

5月9日(土)
13:50
フクアリ

5節で初勝利を挙げた専大だが、そこから波に乗り切れず前節の駒大戦は1-1の引き分け。立ち上がり、試合を優勢に進めたがそこでゴールを奪えず、逆に前半37分に失点。後半のビッグチャンスも決められず敗戦濃厚となった36分に何とかゴールを奪って引き分けに持ち込んだ。開幕当初からの課題である得点力がいかに切迫しているか、前期残り4試合の課題だ。

3試合勝ち星がなく元気がなかった順大だが、前節の流経大戦は2-1で勝利を収めた。しっかりとブロックを作り、3ラインをコンパクトにし、いいポジションからボールを奪いにいくという狙いどおりのプレーを実践。そこからいい形で縦に早く、サイドを使って攻撃を仕掛けた。一方で、相手が一人退場してから戦いは課題が残った。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度の対戦：専大1-2順大/専大3-0順大

南隆(専大・FW・2年)

前半のいい流れの中で点が取れなかったのが次への課題。(得点に関しては)右サイドに選手が入ったので、中で待つことだけ考えていた。次も自分が点を取って勝ちたい。



長谷川竜也(順大・MF・4年)

ずっと勝てていなかったのが、勝ちたいという気持ちがみんなあった。気持ちがプレーに出て、結果に繋がったので良かった。

専大はリーグ戦4連覇中で、昨シーズン最終戦で負けて目の前で優勝を見たので、そういった部分でも絶対に勝ちたいという気持ちがある。